

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

# 人権

GRI102-16 GRI103-1

## 人権に関する方針・考え方

企業のバリューチェーンが拡大する中、人権尊重およびビジネスが人権に与える影響についての社会的関心がグローバルに高まっており、自動車業界においても、従業員の労働環境といった自社のビジネスプロセスのみならず、部品や資材調達といったサプライチェーンにおける人権課題が認識されています。日産は、すべての国・地域で適用される法律や慣例、企業の規則を遵守することが事業活動を行う上での基本であると考え、すべてのステークホルダーの人権が尊重されること、ならびに日産の従業員が最高の倫理基準に基づいて行動することが不可欠であると認識しています。

日産は、人種、国籍、性別、宗教、障がい、年齢、出身、性自認、性的指向、その他の理由に基づくいかなる差別もしないこと、さらにはサプライチェーンにおける強制労働や児童労働といった人権侵害も容認していません。

## 人権尊重に関する基本方針

日産は、「国連グローバル・コンパクト」の参加企業として、世界人権宣言 (UDHR)、市民のおよび政治的権利に関する国際規約 (ICCPR)、経済的、社会的および文化的権利に関する国際規約 (ICESCR)、国際労働機関 (ILO) の労働における基本的原則および権利に関する宣言 (ILO中核的労働基準) に記載された人権を尊重することをコミットします。国連の「ビジネスと人権に関する指導原則 (UNGPs : UN Guiding Principles on Business and Human Rights)」に則り、日産の事業活動から生じ得る人権への悪影響を積極的に防止するために、日産では2017年6月に「日産の人権尊重に関する基本方針」(初版)を作成し公開、2021年7月に同方針を改訂しました\*。この改訂された方針のもと、私たちは、コーポレートパーパス「人々の生活を豊かに。イノベーションをドライブし続ける。」の実現に向けて、企業としての責任を果たし、ミッションを実践して、事業活動を行うとともに、人権尊重への取り組みを進めています。

\* 「日産の人権尊重に関する基本方針」(改訂版)に関する詳細はこちらをご覧ください

[https://www.nissan-global.com/COMMON/DOCS/CSR/LIBRARY/nissan\\_human\\_rights\\_policy\\_j.pdf](https://www.nissan-global.com/COMMON/DOCS/CSR/LIBRARY/nissan_human_rights_policy_j.pdf)

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI102-17	GRI103-2	GRI103-3	GRI406-1	GRI407-1	GRI408-1	GRI409-1	GRI411-1
							GRI412-1

## 人権尊重に関するこれまでの経緯

日産は、2001年に「グローバル行動規範」を制定して以来「国連グローバル・コンパクト」への署名、「ルノー・日産サプライヤーCSRガイドライン」、「日産の人権尊重に関する基本方針」、「グローバル鉱物調達に関する方針」、「カスタマープライバシーに関する基本方針」、「日産グローバル人権ガイドライン」の発行などを行ってきました。

	考え方	取り組み
2001年	「グローバル行動規範」を制定	
2004年	「国連グローバル・コンパクト」に署名	ダイバーシティディベロップメント オフィスを設立
2010年	「ルノー・日産サプライヤー CSRガイドライン」を発行	
2013年	紛争鉱物方針の策定	紛争鉱物調査開始・調査結果を以降 毎年公開
2015年	「ルノー・日産サプライヤーCSR ガイドライン」改訂版を 発行	
2016年		第三者評価機関によるサプライヤー 向けサステナビリティ評価を開始
2017年	「日産の人権尊重に関する基本方針」を策定・発行 「グローバル行動規範」を更新	SpeakUp導入
2018年	Nissan Sustainability 2022を発表	人権インパクト・アセスメントの実施
2019年		日産サウスアフリカ会社で人権アセス メントを実施
2020年	「グローバル鉱物調達に関する方針」を更新 「カスタマープライバシーに関する基本方針」を発行	タイ日産自動車およびグループ会社 (日産パワートレインタイランド株式 会社、エス・エヌ・エヌ・ツールズ&ダイ ズ会社)で人権アセスメントを実施
2021年	「日産グローバル人権ガイドライン」を発行 「日産の人権尊重に関する方針」改訂版を発行	

## 人権に関するマネジメント

### 人権に関するガバナンス

日産では「日産の人権尊重に関する基本方針」に基づき、チーフ サステナビリティ オフィサー (CSO) が議長を務めるグローバル・サステナビリティ・ステアリング・コミッティが人権に関するガバナンスを推進しています。グローバル・サステナビリティ・ステアリング・コミッティでの議論は、最高意思決定機関であるエグゼクティブ・コミッティ (EC: Executive Committee) に報告・提案され、日産の事業活動のあらゆるレベルで人権が尊重されるように浸透と定着を図っています。

また、日産では、社内の方針およびアプローチのすべての変更を反映するために、この方針を定期的に見直し、継続的に更新することを目指すとともに、人権への取り組み状況を適時に調査、報告します。

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

## 従業員およびサプライヤーとの協働による人権のマネジメント

日産は「日産の人権尊重に関する基本方針」を全役員および全従業員に適用しています。2021年には、同基本方針の遵守・徹底を目指し、人権尊重に関する具体的な取り組み内容を取りまとめた「日産グローバル人権ガイドライン」を策定・公開しました。日産では同ガイドラインに基づき、グローバルレベルで従業員に対する人権尊重の取り組みをより一層強化しています。また、「グローバル行動規範」にも社会から期待される倫理の基本的な考え方を明確にしており、全役員・全従業員は前述基本方針を自社の活動を越えた範囲で適用することの重要性を認識しています。日産の目標は、グローバルに展開するサプライチェーンのすべての段階において、倫理的かつ社会・環境に配慮した事業活動を実現することです。この目標を達成するために、サプライヤーを含むビジネスパートナーとも協働していきます。

日産は2006年以来、「The Renault-Nissan Purchasing Way」を通じて、調達に関する共通の価値観やプロセスを全世界に広がるサプライヤーのネットワークと共有してきました。「ルノー・日産サプライヤーCSRガイドライン」においても人権・労働に関する共通の価値観を共有し、人権尊重や児童就労の禁止、強制労働の禁止など、サプライヤーに期待することを記載し、その実践を依頼すると同時に、第三者機関による人権配慮も含めたサプライヤーのサステナビリティ活動の評価も行っています。自主的な取り組みとしては、責任ある鉱物調達に対するデューディリジェンスの実施を各社に要請しています。

販売会社に対してもコミュニケーションを強化しながら、人権問題を含め、一貫性のあるサステナビリティマネジメントを推進しています。

同時に、日産は人権問題に関する申立てなど、さまざまな事項を収集、是正に向けた苦情処理制度を構築しています。社内通報制度は、法律で定められる範囲において匿名性が保たれています。当社は申立て事項の調査、処理、対応に真摯に取り組んでおり、申立てを行う従業員は、社内通報制度で明示してある通り、報復を受けることのないように保護されています。

\* 「日産グローバル人権ガイドライン」に関する詳細はこちらをご覧ください。

[>>> P171](#)

\* サプライチェーンにおける人権への取り組みに関する詳細はこちらをご覧ください

[>>> P157](#)

\* 内部通報システムに関する詳細はこちらをご覧ください

[>>> P220](#)

\* 関連する方針とガイドラインは下記をご覧ください

・グローバル行動規範

[https://www.nissan-global.com/JP/DOCUMENT/PDF/SR/2017/NISSAN\\_GCC\\_J.pdf](https://www.nissan-global.com/JP/DOCUMENT/PDF/SR/2017/NISSAN_GCC_J.pdf)

・ルノー・日産サプライヤーCSRガイドライン

[https://www.nissan-global.com/JP/DOCUMENT/PDF/SR/CSR\\_Alliance\\_Guidelines.pdf](https://www.nissan-global.com/JP/DOCUMENT/PDF/SR/CSR_Alliance_Guidelines.pdf)

・グローバル鉱物調達に関する方針

[https://www.nissan-global.com/JP/DOCUMENT/PDF/SR/Minerals\\_Sourcing\\_Policy\\_j.pdf](https://www.nissan-global.com/JP/DOCUMENT/PDF/SR/Minerals_Sourcing_Policy_j.pdf)

・カスタマープライバシーに関する基本方針

[https://www.nissan-global.com/JP/DOCUMENT/PDF/COMPANY/LIBRARY/Customer\\_Privacy\\_Policy\\_j.pdf](https://www.nissan-global.com/JP/DOCUMENT/PDF/COMPANY/LIBRARY/Customer_Privacy_Policy_j.pdf)

・日産グローバル人権ガイドライン

[https://www.nissan-global.com/JP/SUSTAINABILITY/LIBRARY/HUMAN\\_RIGHTS\\_GUIDELINE/index.html](https://www.nissan-global.com/JP/SUSTAINABILITY/LIBRARY/HUMAN_RIGHTS_GUIDELINE/index.html)

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI102-11	GRI102-12	GRI102-29	GRI102-47	GRI103-2	GRI103-3	GRI406-1	GRI407-1
		GRI408-1	GRI409-1	GRI411-1	GRI412-1	GRI412-2	

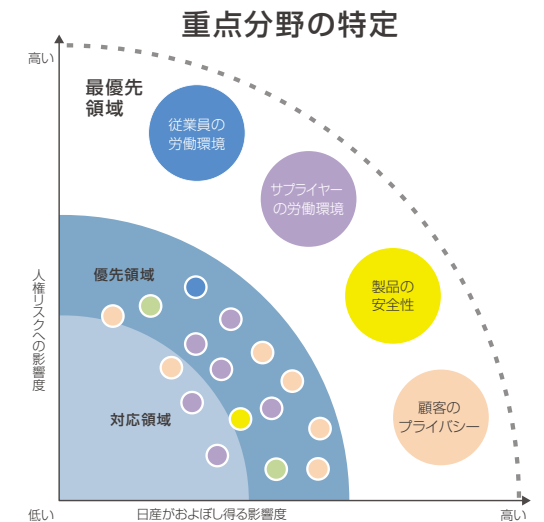
## 人権に関する実績

日産は人権について包括的に取り組む必要性を認識しています。人権侵害を意図せず引き起こしてしまうケースや関与する可能性のある顕在的・潜在的なリスク把握したうえで、それらを未然に防ぐためには、事実をモニター・評価し、対応策を講じることが重要になります。

日産は2001年、「グローバル行動規範」に多様性の尊重と機会平等を明記し、2004年には業界他社に先駆けて「国連グローバル・コンパクト」に署名、現在に至るまで報告義務を遂行しています。サプライヤーに対しても2010年に「ルノー・日産サプライヤーCSRガイドライン」を発行（2015年改訂）、強制労働および児童就労の禁止など人権の尊重を明記し、日産のサステナビリティ方針を共有してきました。

また、2017年には国連の「ビジネスと人権に関する指導原則（UNGPs：UN Guiding Principles on Business and Human Rights）」に則り、「日産の人権尊重に関する基本方針」を発行（2021年改訂）、すべてのステークホルダーの人権を尊重すること、そして日産の従業員が最高の倫理基準に基づいて行動することを表明しています。2018年6月には新たなサステナビリティ戦略「Nissan Sustainability 2022」を発表、環境、社会性、ガバナンスの側面における2022年度までの活動目標を明確にし、その社会性の側面で、あらゆるステークホルダーの権利を尊重することの重要性をあらためて強調しています。

2018年に米国のサステナビリティ推進団体であるBSR(Business for Social Responsibility)とともに、人権インパクト・アセスメントを実施、特に人権にかかわる潜在的なリスクとして、サプライヤーの労働環境、従業員の労働環境、製品安全、顧客のプライバシーを特定し、この4つを



取り組むべき重点分野に特定しました。2019年にはBSRと協力し、日産サウスアフリカ会社において人権アセスメントを実施した結果、同社における人権リスクが全体的に低いことを確認しました。さらに2020年は、アセアン地域における関連会社の人権アセスメントを拡大、タイ日産自動車会社およびグループ会社（ニッサンパワートレイン（タイランド）株式会社、エス・エヌ・エヌ・ツールズ&ダイズ会社）で人権アセスメントを行いました。これらのアセスメントにて指摘を受けた項目については、アセスメント後にフォローアップ計画を策定し、実行することで継続的な改善を行っています。

また日産では、従業員に対する人権意識啓発としてアンコンシャスバイアス（無意識の偏見）に関するe-ラーニング講座を開催、延べ受講完了者数は1万6,402名となりました。

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

また2014年度から毎年実施しているLGBTセミナーには、これまでに延べ約550名が参加しました。2016年度からはLGBTに関する基礎知識を学ぶためのeラーニングプログラムの受講を全管理職に義務づけており、2020年度はeラーニングプログラムの内容を更新し、あらためて管理職ならびにスタッフ層にも受講を義務づけました。また、LGBT従業員への取り組み\*1も積極的に行っています。

さらに日産の従業員は、「グローバル行動規範」に記載している通り、内部通報システムSpeakUp\*2を通じて人権問題に関する問い合わせを行うことができます。通報された懸念に対しては、調査・説明・対応を行うとともに、問い合わせた従業員が不当な扱いを受けないよう保護しています。

\*1 LGBT従業員への取り組みに関する詳細はこちらをご覧ください

[>>> P128](#)

\*2 内部通報システムに関する詳細はこちらをご覧ください

[>>> P220](#)

\* 責任ある鉱物調達に関する詳細はこちらをご覧ください

[>>> P163](#)

\* グローバル行動規範のトレーニングに関する詳細はこちらをご覧ください

[>>> P218](#)